佐賀県公立高校入試徹底分析【国語】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	50点
問題構成	大問４題。作文・説明的文章・文学的文章・古典。 [一]は作文及び漢字の書き取り。11点。漢字は書き２問、読み２問の合計４点。 作文は資料の読み取り形式。記号選択１問。101字以上130字以内の作文記述１問。 資料は、天山中学校の保健委員会が、インターネットの長時間利用が健康に与える影響に注目し、全校生徒に「自宅でのインターネット利用に関するアンケート」を行い、自宅でのより良いインターネットの使い方に関する提案としてⅠ案「1時間に1回、15分間の休憩をとりましょう。」とⅡ案「寝る場所にデジタル機器を持ち込まないようにしましょう。」のいずれをよいと考えるか、それに対する考えと理由を書かせるものであった。ただし、条件として【アンケート結果】の内容を踏まえて理由を書くこと。選んだ案に取り組むことのよさや効果を具体的に書くことが課せられていた。 [二]は説明的文章。13点。出典（『それでも生きていく　不安社会を読み解く知の言葉』姜尚中））。論述問題は60字以内が１問、30字程度が1問であった。 [三]は文学的文章。15点。出典（『永遠をさがしに』原田マハ）。論述問題は15字以内が１問。対話形式の空欄を埋める心情説明の問題であった。 [四]は古典。11点。出典（『伊曾保物語』）論述問題は15字以内が1問、10字程度が1問であった。		

	令和8 年度(2026)	令和７年度(2025)	令和６年度(2024)	令和５年度(2023)	令和４年度(2022)
問題量（Ａ４で）	14ページ分	14ページ分	14ページ分	14ページ分	12ページ分
小問数	25問	24問	26問	23問	22問
論述問題の数	6問	４問	６問	３問	４問
論述問題配点	17点	12点	15点	10点	13点
受験者平均点	30.4点	32.3点	35.1点	34.3点	25.3点

【出題の傾向と対策】

①[一] 資料を読み取り、選択をし、【アンケート結果】に基づく理由を書き、選んだ案に取り組むことのよさや効果を具体的に書く。作文記述問題では、自説に説得力を持たせるための「思考力」と「表現力」が求められる。日頃から身近な事柄について、その特徴などを言葉として表現することを練習するのが有効な対策になる。

R8 [一]

保健委員会での「自宅でのインターネット利用に関するアンケート」と話し合いを元に、生徒へ提案する案（Ⅰ案「1時間に1回15分間の休憩をとる」またはⅡ案「寝る場所にデジタル機器を持ち込まない」）を選ぶ。

【条件】

・百一字以上、百三十以内で書くこと。
・Ⅰ案とⅡ案のいずれか一方を選び、【アンケート結果】の内容を踏まえて、理由を書くこと。
・選んだ案に取り組むことのよさや効果を具体的に書くことを達成するための工夫を加えて書くこと。
・原稿用紙の使い方に従って書くこと。

★この問題の正答率は、47％であった。

②[二] 論説文において、筆者の主張や本文内容の要約に関する対話形式の問題及びその記述式は必須。設問の条件を掴み、必要な語句を見つけ、設問の問いかけに対して正しく答えられるようにする。

R８[二]

問2　②最も大きな悲劇は、自分の人生に起きた出来事をどうとらえて、どのように人生を完結させるかーという過去へのまなざしが、近代の時間意識の中でなくなってしまったことです。　とあるが、「過去へのまなざ

し」がなくなってしまったことが「最大の悲劇」であるのはなぜか。次の解答の形式に従って６０字以内で書きなさい。

【「過去へのまなざし」がなくなってしまうと、】【　　】【から。】

★筆者の主張を要約する問題である。この問題の正答率は、28％であった。
求められていることを的確に読み取り、素早く記述することができるようにならなければならない。

③[三] 文学的文章は、人物の心情を記述する問題が頻出である。人物の心情を言語化する努力が必要である。

R8[三]

問３　次に示すのは、×冷たい秋風にかき消されそうな声で、和音はつぶやいたとyそして、静かな、けれど熱のこもった声で二人に告げた　についての先生とＡさんとＢさんの【対話】である。空欄Ⅱにあてはまる言葉を１５字以内で書きなさい。

★対話形式の空欄を埋める記述問題。空欄の直前、直後の内容をヒントに必要なことが書かれている部分をしぼりこむ。この問題の正答率は26％であった。

④[四] 古典の記述問題の正答率が例年低い。古典の読解力、得点力が合否を分ける。多くの古文に接し、読解の練習を続けていくことが重要になる。

R8[四]

問2　①千度悔やめども　とあるが、鼠たちはどのようなことを悔んでいるのか。次の解答の形式に従って15字以内で書きなさい。

鼠が【　　】こと。

★鼠たちがあげる現状の問題点を書かせる記述形式の問題。口語訳とともに読み進めれば比較的容易に正答を導き出すことができるはず。この問題の正答率は32％であった。

R8 [一]　問３

【解答例1】　私はI案がよいと考える。理由は、三割の人が感じている、画面の見すぎによる目の疲れの改善に効果があると思うからだ。また、「気づくと連続して長時間使っている」ことを問題だと回答している人が多いため、インターネットの使い方を見直すきっかけにもつながると考える。（128字）

【解答例2】　私はⅡ案がよいと考えます。なぜなら、寝る場所にデジタル機器を持ち込まなければ、寝る直前までインターネットを利用することがなくなり、睡眠不足を解消することにつながると思うからです。Ⅱ案には、睡眠不足で体がだるいという人を減らせるというよさがあると思います。（128字）

R8 [二]　問2　【「過去へのまなざしが」がなくなってしまうと、】

（例）自分の人生が「誰にも語りえない自分だけのものだった」という実感を持てず、人生に満足できないまま、未来へと急がされる【から。】

問3（例）デジタル化された時間のテンポとは違う時間軸を自分の中にもっておく【ことが必要。】

R8[三]　問６（２）（例）母のためにもチェロを弾きたい

R8[四]　問２【鼠が】（例）油断して猫に捕らえられる【こと。】

※解答は県発表の標準解答に拠る